

南丹市障害者就労支援ネットワーク会議 活動報告

会議の設置目的

市内の障害者就労施設のネットワークを構築し、受注情報の収集や情報提供を行うことにより、障害者就労施設の経営基盤を強化し、障がい者の就労の場を確保する。

【事務局】 障害者支援施設 京都太陽の園（南丹市より業務委託）

【参画事業所（12事業所）】

京都太陽の園、京都太陽の園（分場）、あしたーる工房、あじさい園、しぜん塾やぎ農園
城山共同作業所、園部共同作業所、ひより舎、あゆみ工房、暮らしランプ HIYOSHI
GARDEN、ヒーローズ japan、Grape garden

令和3年度の共同受注実績

R3.6 南丹市民生児童委員協議会からの軽作業依頼

マスク2枚・チラシ1枚の封入作業 ※総数3,000セット

→5事業所で分配して受注

R3.8 「京都府障害者のつどい」参加記念品の制作依頼 ※@110円×150個

→2事業所で分配して受注

R3.12 （株）宮崎化学からの軽作業依頼

ボトルシール貼りの作業

→3事業所で分配して受注

令和4年度の活動状況

【会議の開催】 年3回を予定（①7/6開催、②11/17開催、③R5.3頃の予定）

- ・各事業所とも自主製品の売上や下請けの収益が安定している状況
- ・各事業所における自主製品の製造・販売内容
パン、焼き菓子、さをり織、乳製品、雑貨、ステンドグラス、野菜の栽培、お弁当、
小麦、ハーブティー など

【下請け作業】

箱折り、農作業手伝い、文書折り、除草作業、清掃作業、封入作業、電子部品の組み立て、
仕分け作業、シール貼り、印刷製本業務

【各事業所における課題】

- ・利用者の高齢化で下請けの納品を間に合わせる事が難しくなっている
- ・商品の価格設定の厳しさに直面している（低価格にしないと売れない）

- ・野菜の価格高騰問題で、少しでも事業所でまかなえるような工夫が必要（＝自主栽培）
- ・利用者の年齢層が若い事業所では、「工賃をもらう」＝「仕事」としての意識づけが難しい
- ・利用者の気持ちへの寄り添い方が難しく、スタッフのメンタルにも影響している状況

今後の取組について

【共同受注窓口をどこまで強化していくかが課題】

- ・各事業所の収入が安定している状況と、自主製品に力を入れたい気持ちがある中で、大口受注の下請け作業をどこまで受け入れられるのか
- ・「つむぐ」で今後 PR するべき受注内容を精査し、来年度のパンフレットの見直しを図っていく
- ・「つむぐ」の活用方法を改めて検討
 - 配布先に、民児協・ライオンズクラブなどを対象とし、周知活動に努めることで共同受注窓口の土台づくりから始動していく